



こども食堂等に
スピード感を持った支援を
鈴木 めぐみ(輝)



問／コロナ禍で子どもの貧困が加速していると指摘されている。市内の直近の児童扶養手当の受給者数はどうか。また、こども食堂等にスピード感を持った支援が必要と考えるがどうか。

答／当市における児童扶養手当の対象世帯等は、令和3年5月時点で1、144世帯である。こども食堂等への支援については、運営されているこども食堂に参加し、イベントの実施などに協力を行っているほか、開設を目指す団体に対し、開設に必要な手続の確認や食材の調達に向けたフードバンクとの橋渡しなど、立ち上げに向けた支援を行っている。



空き家等の適正管理 市の方針は

問／令和3年4月に、第2期上越市空き家等対策計画が策定されたが、適切な管理がされていない空き家等の解消に向け、市としてどのような政策方針で取り組んでいくのか。

答／新たに予防の視点を加え、継続した空き家対策の取組を進めている。市では、取組の継続と強化に向けて、町内会を通じた「予防」の啓発、空き家情報バンクの拡充、管理不全空き家等の所有者への行政指導における「面談」の実施など、きめ細やかに取組を進めている。



UPZ圏内自治体への
事前了解権は
上野 公悦(日本共産党議員団)



問／原発5〜30km圏内(UPZ)の超党派議員で構成する議員研究会は、圏内住民へのアンケート調査を行うと同時に、圏内自治体に事前了解権や適切な措置要求などの権限を加えた新協定案を策定した。これについてどう思うか。

答／議員研究会のアンケートの起点は、東電の安全意識が低いという、当市も参加する研究会と同じ思いであったと受け止めている。実際の再稼働に当たっては、知事が各自治体の意向を取りまとめ、意思表示を行うこととしているので、実質的に同様の権限を有している。

信越本線犀潟駅南口の開設 市の対応は

問／犀潟駅南口の開設は、関係住民の長年の要望事項である。JRに対する市の働きかけは。

答／JRと協議を行ったが、「自らが主体となつて整備を行う考えはない」との回答を受けており、この考えを変えるまでには至らなかった。

コロナ禍のオリンピック開催をどう考えるか

問／オリンピックの開催とドイツ体操チームの受入れや交流事業についてどう考えているか。

答／万全の感染症対策が行われた上で安全な大会が行われることを期待している。ドイツチームの事前合宿は7月に行われる予定で調整している。市民の安全最優先で取り組んでいく。



子どもたちにきちんと
着替える場所を
高山 せいち(あのみ)



問／小中学校における男女同室着替えについて、国は15年前に「同室着替えは非常識であり児童生徒に羞恥心や戸惑いを感じさせる恐れが大きい」として教育委員会に適切な対応と改善を求めてきたが、当市における実態はどうか。

答／小学校48校中、4年生以上は全ての学校で別室着替えを行っている。中学校は22校中、7校が別室、15校は男女同室で着替えているが、制服の下に体操着を着ていて着脱を行っている。制服の下に体操着を着ていれば男女同室でも構わないと考えるのか。



答／国の通知どおり別室が望ましいが、体操着を下に着ていて制服を着脱している実態がある。

問／大人が勝手にそれで良いと思いついで汗処理し、部活後も用具庫等で着替えている。汗のまま着替えない子もいる現状をどう思うか。

答／更衣室を整備するには制約がある。

問／これから水泳も始まる。子どもたちは更衣室で着替える権利がある。子どもの心と体の成長を無視せず、臨時部屋を用意し早急に対応すべきと考えるがどうか。

答／心情問題は深刻なこと。学校の実態を確認し適切に対応するよう改善指導していきたい。

